

株式会社 ティー・ワイ・オー

2011年7月期第2四半期決算のご説明



第三者割当増資の概要

- 募集株式の種類及び数 普通株式26,531,000株
(増資後の所有割合 44.4%)
- 払込金額 1,300,019,000円
(1株につき49円)
- 増加資本金 650,009,500円
- 増加資本準備金 650,009,500円
- 払込日 2010年12月30日(木)
- 割当先 インテグラル1号投資事業有限責任組合

はじめに:インテグラルのご紹介

インテグラルのご紹介



名称 インテグラル株式会社

代表者 代表取締役 佐山 展生
同 山本 礼二郎

創業 2007年9月

運用資金 国内大手生命保険、銀行等

投資実績



(株)ヨウジヤマモト
(婦人服・紳士服等の企画・販売)

SHICATA CO.

(株)シカタ
(バッグの企画・製造・販売)



(株)ビー・ピー・エス
(封入封緘機の製造・販売)

インテグラルより、 3名の社外取締役が就任。

鈴木 愛作

1994年4月 J. P. モルガン 入社
2001年3月 ユニゾン・キャピタル 入社
2004年6月 東ハト監査役
2005年6月 コスモスイニシア監査役
2007年9月 インテグラル取締役

辺見 芳弘

1980年4月 三井物産 入社
1990年8月 ボストンコンサルティンググループ入社
1998年4月 同社パートナー
2001年4月 アディダスジャパン副社長
2004年6月 東ハト代表取締役社長
2007年9月 インテグラル取締役
2009年12月 ヨウジヤマモト取締役会長

後藤 英恒

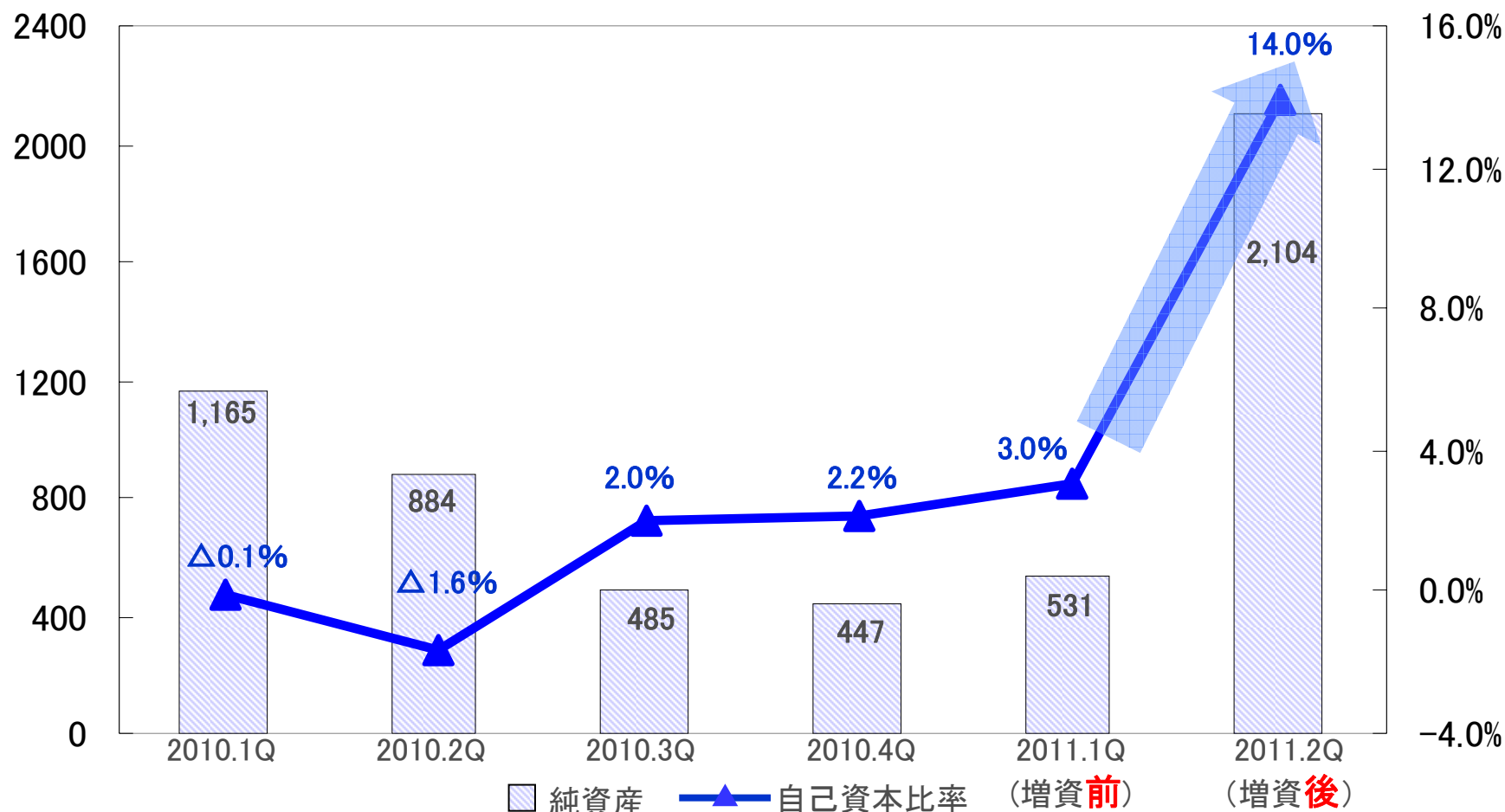
1994年4月 P&G入社
2001年4月 ボストンコンサルティンググループ入社
2005年6月 東ハト取締役副社長兼COO
2007年9月 インテグラル ディレクター

はじめに: 増資後の自己資本比率と純資産

純資産が4.0倍に、自己資本比率は4.7倍に、大幅改善。

純資産(単位: 百万円)

自己資本比率



1. 2011年7月期第2四半期決算ハイライト
2. 経営施策の進捗状況
3. 通期業績予想について

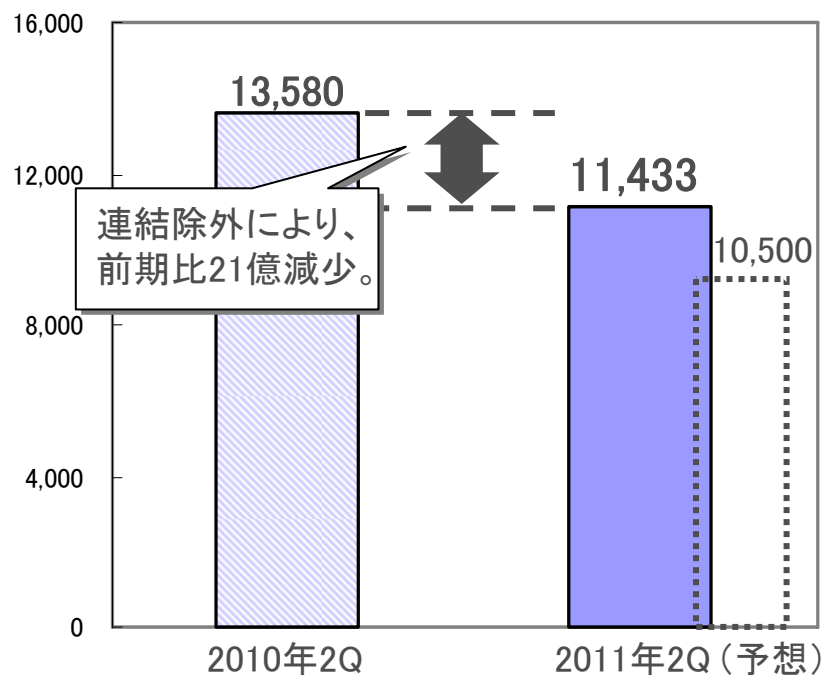
1.2011年7月期第2四半期決算ハイライト

1.1. 2011年7月期第2四半期連結決算ハイライト

子会社の連結除外の影響により売上高は前期比で減少も、
 コスト削減・本業回帰並びに業務効率化により、
利益は前期比・予想比ともに大幅改善。

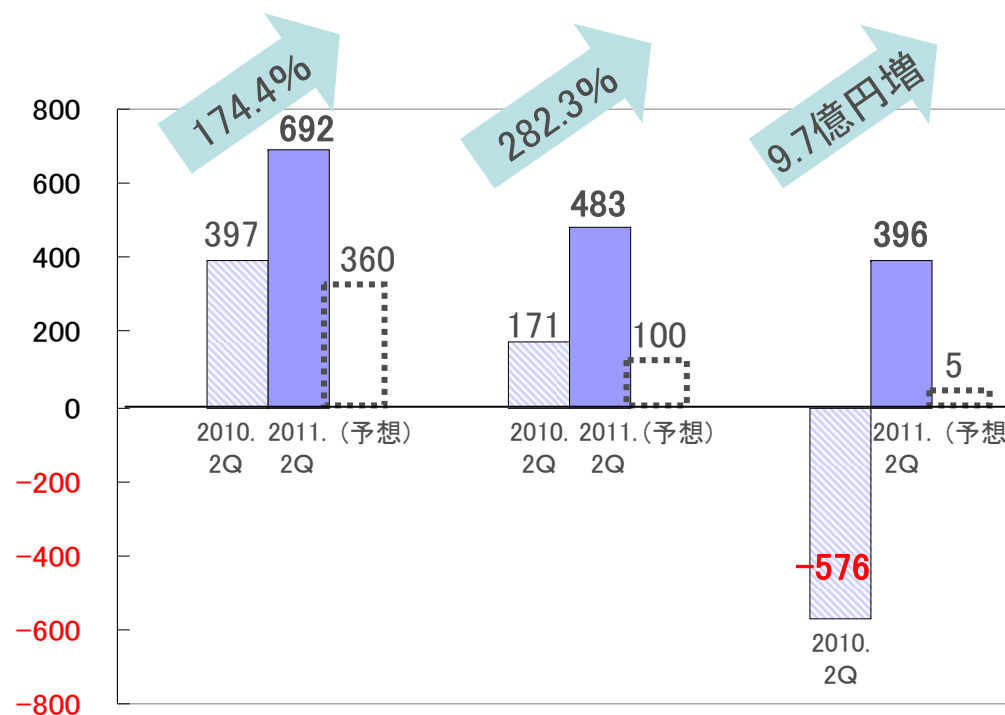
(単位:百万円)

【売上高】



【営業利益】

【経常利益】 【純利益又は損失】



1.2.連結損益計算書サマリー

(単位:百万円)

	2010年7月期2Q		2011年7月期2Q		増減額	増減率 (%)	
	金額	構成比	金額	構成比			
売上高	13,580	100.0	11,433	100.0	△2,147	△15.8	✓連結子会社の譲渡により、売上高は減少。
売上総利益	3,140	23.1	2,623	22.9	△517	△16.5	✓ 業務効率化及び 全社的なコスト削減施策により、 販売費及び一般管理費が 813百万円減少。 ⇒ 営業利益率が 前期比 +3.2ポイントと大幅改善。
販売管理費	2,743	20.2	1,930	16.9	△813	△29.6	
営業利益	397	2.9	692	6.1	295	74.3	
営業外収益	98	0.7	82	0.7	△16	△16.3	✓ 前期利益を圧迫していた特別損失要因 がなくなり、 利益の大幅改善に寄与。
営業外費用	323	2.4	290	2.5	△33	△10.2	
経常利益	171	1.3	483	4.2	312	182.5	✓ グループ統合により、 法人税等を適正化。
特別利益	112	0.8	57	0.5	△55	△49.1	
特別損失	538	4.0	105	0.9	△433	△80.5	
法人税等合計	261	-	63	0.6	△198	△75.9	
四半期損益	△576	-	396	3.5	972	-	

1.3.1. 連結貸借対照表①

(単位:百万円)		2010年7月期	2011年7月期2Q	増減	
資産の部	流動資産	8,974	9,733	759	✓ 増資並びに TV-CM事業の好調とコスト削減により、 十分な運転資金 を確保。
	現金及び預金	2,825	3,794	969	
	受取手形及び売掛金	4,035	3,859	△176	
	仕掛、商品、製品等	1,299	1,547	248	✓ 連結除外会社の影響により減少。
	その他	814	531	△283	✓ TV-CM事業の好調により増加。
	固定資産	4,976	4,746	△230	
	有形固定資産	2,091	2,054	△37	✓ 前期にて、のれんと出資金の償却を行った為減少 ⇒ 利益改善に寄与。
	無形固定資産	1,160	1,046	△114	
	のれん	1,047	931	△116	
	その他	113	114	1	
	投資その他の資産	1,723	1,646	△77	
	出資金	101	47	△54	
	長期貸付金	719	705	△14	
	その他	902	893	△9	
	資産合計	13,950	14,480	530	

1.3.2. 連結貸借対照表②

(単位:百万円)		2010年7月期	2011年7月期2Q	増減
負債の部	流動負債	4,702	4,897	195
	買掛金	2,291	2,630	339
	短期借入金	715	1,114	399
	前受金	147	354	207
	その他	1,547	797	△750
	固定負債	8,800	7,478	△1,322
	長期借入金	8,249	6,963	△1,286
	役員退職慰労引当金	300	252	△48
	その他	250	262	12
	負債合計	13,502	12,375	△1,127
純資産の部	株主資本	381	2,077	1,696
	資本金	1,101	1,751	650
	資本剰余金	703	1,353	650
	利益剰余金	△1,422	△1,026	396
	自己株式	0	0	0
	評価・換算差額等合計	△69	△49	20
	新株予約権	32	3	△29
	少数株主持分	102	73	△29
	純資産合計	447	2,104	1,657
負債純資産合計	13,950	14,480	530	

✓ 有利子負債総額を大幅圧縮。

【有利子負債総額】

2010年7月期 89億円

2011年7月期2Q 80億円

✓ 増資と純利益の計上により、

純資産の大幅改善。

【1株当り純資産】

2010年7月期 9.40円

2011年7月期2Q 33.94円

【自己資本比率】

2010年7月期 2.2%

2011年7月期2Q 14.0%

✓ 四半期純利益396百万円の計上により、利益剰余金のマイナスを削減。

1.4. 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	2010年7月期2Q	2011年7月期2Q	
営業活動によるキャッシュ・フロー	△430	730	✓TV-CM事業の好調により、 営業キャッシュの大幅増加。
税金等調整前四半期純利益	△255	436	
減価償却費(著作権・のれん・出資金含)	874	287	
関係会社整理損失引当金(△は減少)	△348	-	✓ 前期にて、連結除外した子会 社の影響で出資金の償却負担 が減少。 ⇒ 収益力の強化に寄与。
売上債権増減(△は増加)	△424	178	
棚卸資産増減(△は増加)	18	△248	
仕入債務増減(△は減少)	△162	253	
前受金の増減額(△は減少)	△429	206	
法人税等の支払額	△286	△464	
その他	582	82	
投資活動によるキャッシュ・フロー	218	△15	✓オフィス統合のための移転に伴 う固定資産の取得があるも、 差入保証金の回収により、 投資キャッシュを抑制。
有形・無形固定資産の取得による支出	△130	△145	
投資有価証券の売却による収入	251	1	
その他	97	129	
財務活動によるキャッシュ・フロー	758	256	✓ 有利子負債の返済に伴う 支出。
借入金/社債増減	793	△887	
株式発行による収入	-	1,189	✓第三者割当増資の実施 により獲得。
その他	△35	△45	

2. 経営施策の進捗状況

2.1. 5つの経営施策

1 **グループ統合**

2 **コスト削減**

3 **選択と集中**

4 **負債の圧縮**

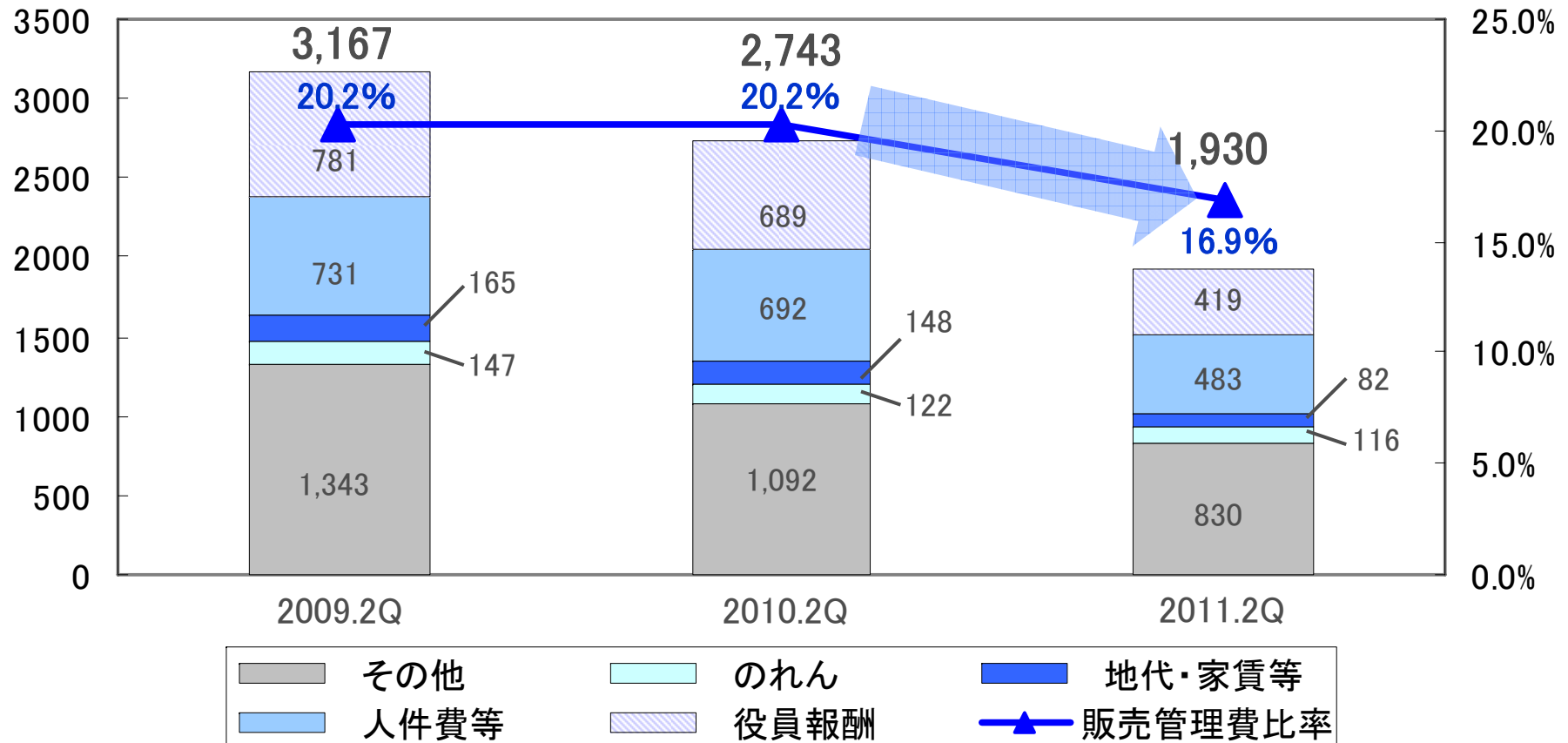
5 **増資**

2.2.1. ①グループ統合/②コスト削減(販売管理費)

効率化や管理費・固定費の圧縮により、**8.1億円**の削減を実現。

【販売管理費の推移】

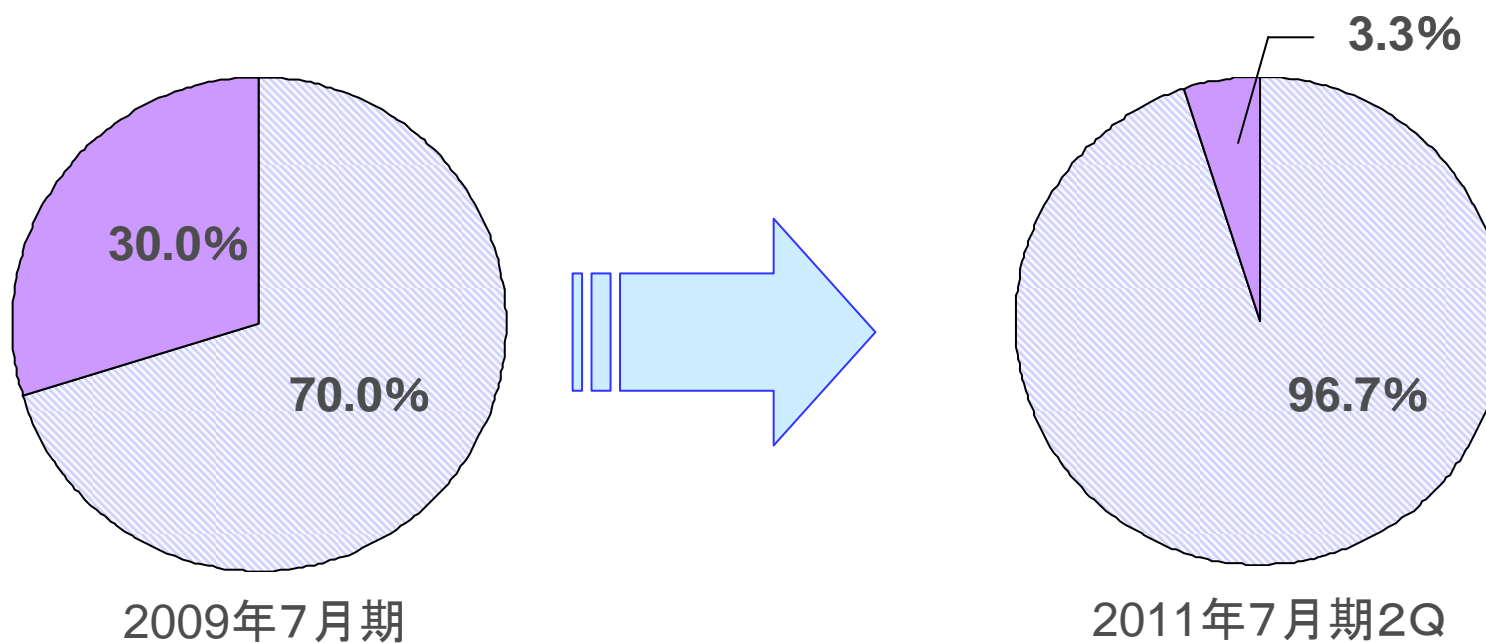
(単位:百万円)



2.3.1. ③選択と集中

不採算部門であったエンタテインメント部門からの撤退により、
本業である広告事業に集中。

【総売上高に占めるエンタテインメント部門売上高の推移】

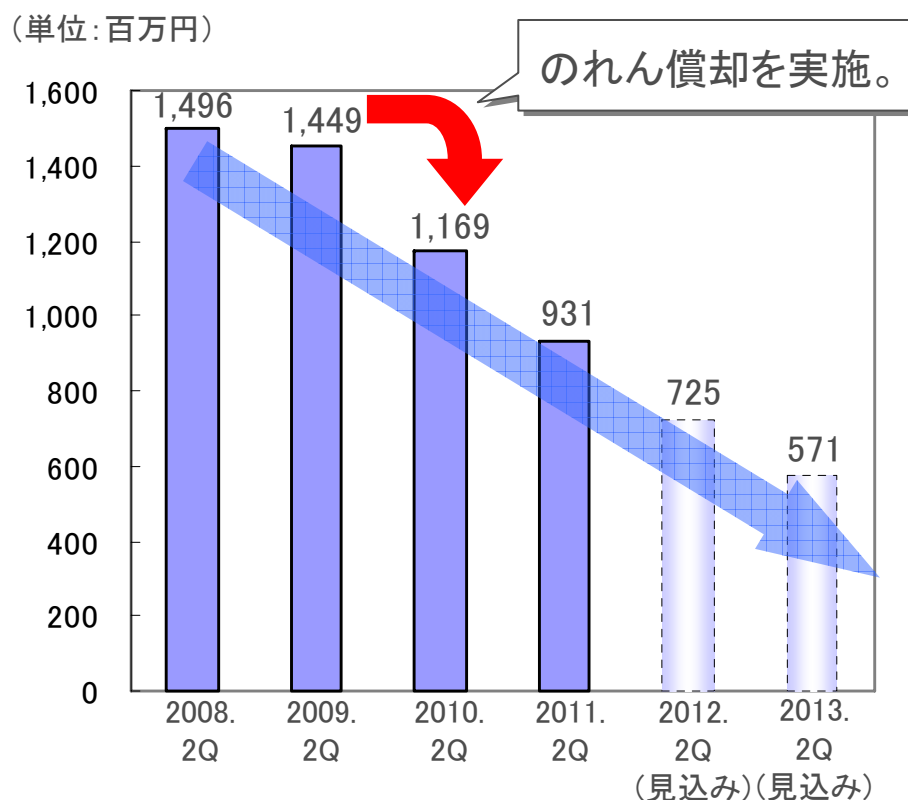


■ 広告部門 ■ エンタテインメント部門

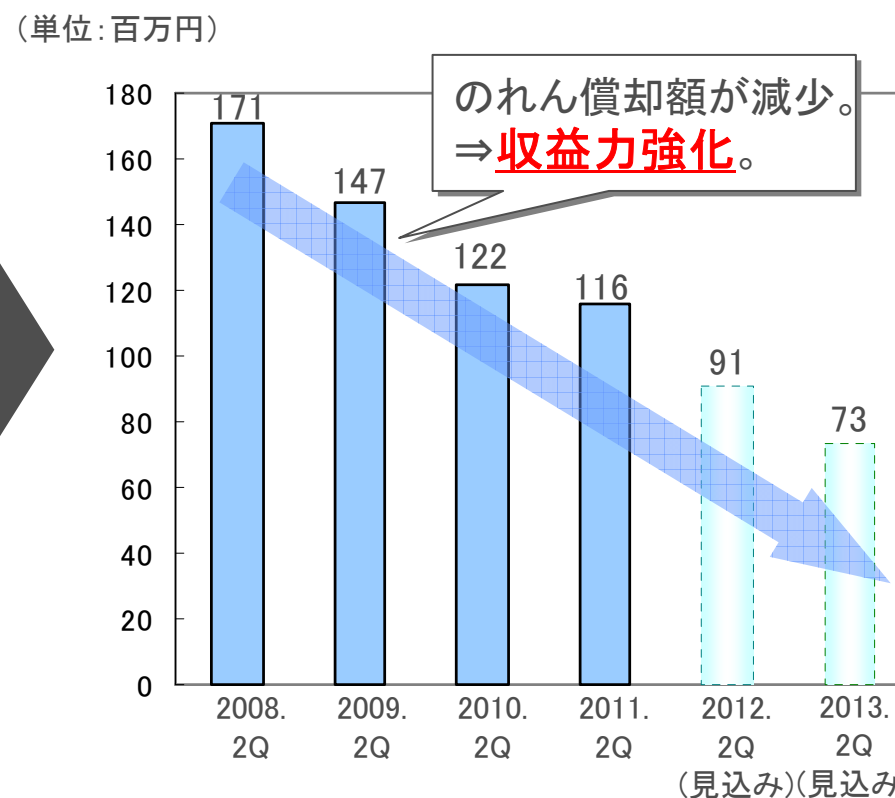
2.3.2. ③選択と集中

のれん償却と、新規投資の手控えにより、
のれん負担が大幅に減少⇒**収益力の強化に寄与。**

【のれん残高の推移】



【のれん償却額の推移】

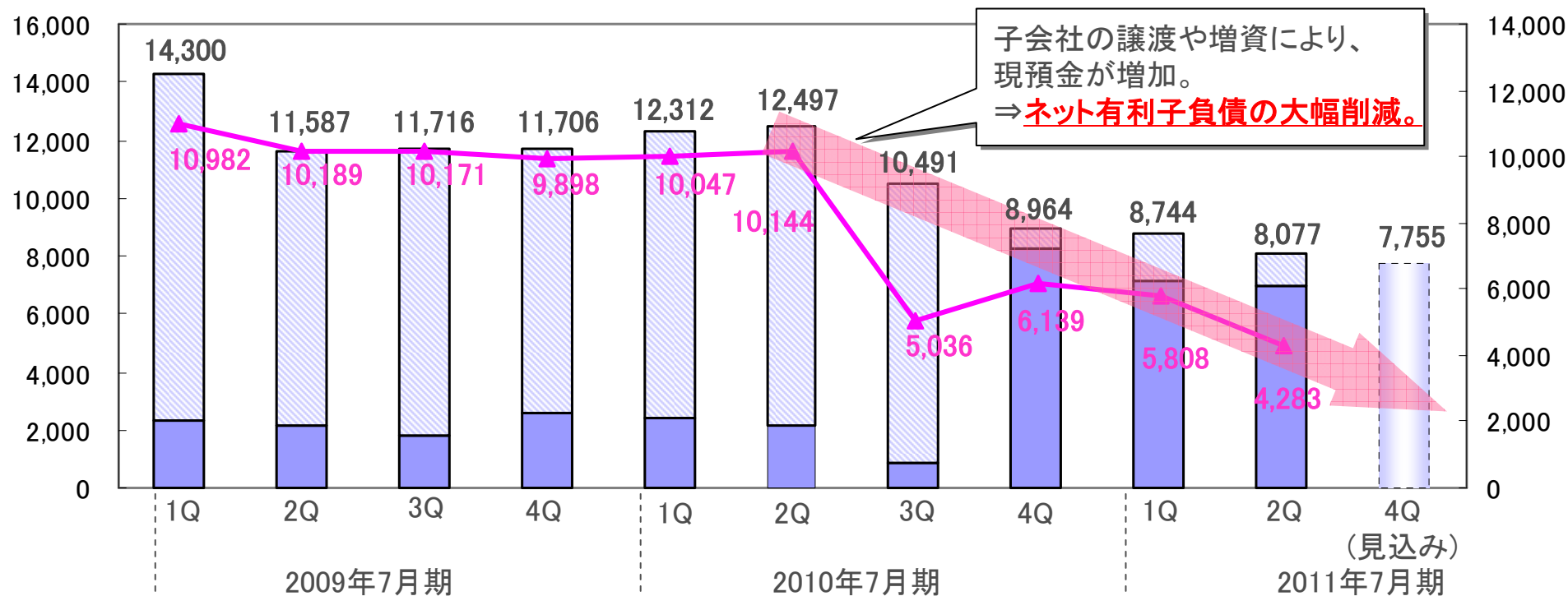


2.4.1. ④負債の圧縮

安定的な資金調達のため、短期借入金から長期借入金へシフトするとともに、
有利子負債を大幅削減。

(単位:百万円)

■ 長期借入 ■ 短期借入 ▲ ネット有利子負債



はじめに: 増資後の自己資本比率と純資産

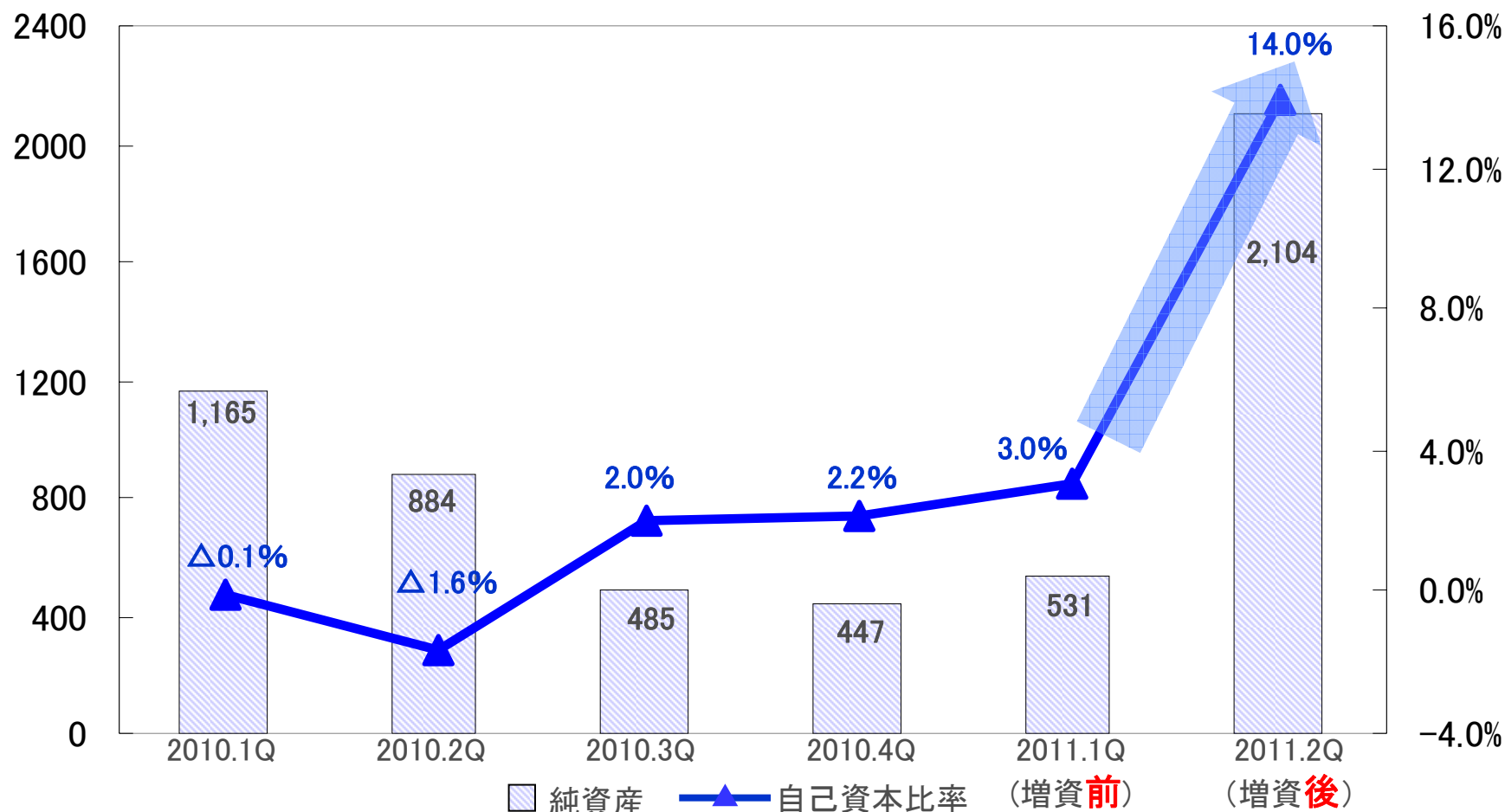
再掲



純資産が4.0倍に、自己資本比率は4.7倍に、大幅改善。

純資産(単位:百万円)

自己資本比率



3. 通期業績予想について

3.1. 通期業績予想について

	2011年7月期2Q実績		2011年7月期通期予想		
	金額（百万円）	構成比	金額（百万円）	構成比	昨対比
売上高	11,433	100.0%	23,000	100.0%	86.8%
営業利益	692	6.1%	1,000	4.3%	107.9%
経常利益	483	4.2%	630	2.7%	107.8%
当期純利益	396	3.5%	350	1.5%	—

【当社の通期業績予想に対する考え方】

- 通期業績予想については、現在業績動向含め精査中である。
- 通期業績予想数値が確定次第、速やかに発表する。

何かご不明な点等ございましたら、下記までご連絡下さい。

TYO経営企画部 （03-5434-1586）

highly confidential ©TYO